

市民との意見交換会会議録

報告日及び報告者 H28.11.21 齋藤、川名

1. 日時 平成28年10月26日(水)午後6時30分～午後8時30分
2. 場所 えぼか 中会議室
3. 出席議員 齋藤雅彦、三瓶裕司、後藤省一、円谷長作、山本 勤、川名正勝、作田 博、国分勝広(8名)
4. 出席市民 20名
5. 会議経過

【午後6時30分開会】

- ◇ 三瓶議員 開会宣言
- ◇ 作田議員 開会挨拶

意見交換会は今回で4回目になる。昨年、基本条例を制定し、それに基づいて実施される。執行部ではないので明快な回答が出せない場合があるが、それらについては精査し後日回答する。忌憚のない良い意見をお願いしたい。

(出席議員自己紹介)

各議員

【報告】

- ◇ 円谷議員

議会だよりを4冊(第42・43・44・45号)配布、中身を掻い摘んで報告する。

- ①定例会・臨時会の審議の概要
- ②政務活動費、H27年度結果及びH28年度状況報告
- ③前回の意見交換会要望に対する処理状況報告

《質疑 要旨》

問(市民) 無し

【意見交換】

(1) これからの地域のあり方・活性化について

問(市民)

- ・地域の代表である議員の一般質問は、地域活動の結果であり、地域活性化につながる為、全員が一般質問をするように要望する。
- ・一般質問で都市計画・都市再生の質問が無かった。都市計画を作って再生をするような取り組みをしてほしい。

- ・将来の子供たちのために、学校の誘致を進めて欲しい。優秀な子供を発掘するスポーツアカデミーを作るような、子供たちを伸ばすような取り組みをして欲しい。
- ・市の文化遺産があまりないので、残すような取り組みをしてほしい。

答 後藤議員

- ・議員の一般質問者が足りないと言う意見があったが、もっと地域の意見を持ちよるよう、都市計画のビジョンが無いという意見も併せて取り組んでいく。小中のアカデミーの取り組みは要望として伺った。文化遺産を残す取り組みについても、歴史のある秋祭りなど取り組んでいく。

問 (市民)

- ・青田地区の会津街道沿いや堆肥センター付近の中学校通学路は、街路灯が少なく危険なので街路灯を増やして欲しい。

答 後藤議員

- ・9月の補正で、場所は決まっていないが80灯設置計画があるので、要請をしたい。

答 円谷議員

- ・街路灯は毎年40灯設置の計画があり、9月の補正で80灯が新たに予算化になり計120灯の設置の予定がある。議会の役割として優先順位を決めて設置をしていきたい。市長は今後2、3年継続していく考えを持っているが、あくまで予算ありきという事で了承してほしい。

問 (市民)

- ・孫一地区でも空き家が増え、スズメバチの巣の駆除をした。ガラスの割れている所もあり、遠くに住んでいる家主に連絡をしなくてはならない場合があるので、空き家の状況調査をしてもらいたい。
- ・少子高齢化に伴い、議会でも人口減少や財政再建に取り組んでいる自治体を調査や視察をして勉強して欲しい。

答 円谷議員

- ・空き家については、市では昨年から窓口を宅地宅建協会に委託をして調査を実施して、現在持ち主がだれか、耐震・老朽の度合いで使える使えないのランク付けが終了している。今後、家主が貸しても良いと言うところであれば貸していく方向で進めている。
- ・地方創生に併せて、人口減少対策として空き家対策の経費についても国の補助があり、宅地造成補助、マイホーム取得奨励金、婚活サポートにより本宮に住んでもらう事業や「元気もとみやトライアングル」など、本宮の優位性のチラシも出して市外の方にアピールしている状況である。

- ・視察研修については、議会の委員会として案件別に取り組んでいる中で他の自治体の視察研修を実施して、本宮にどれだけプラスになるか調査研究を行っている。

問（市民）

- ・側溝の除染はいつ頃実施されるのか。ゲリラ豪雨のときは、流れが悪く道路へ流れ出ている。除染土の搬出は？。

答 三瓶議員

- ・側溝・道路の除染は始まっている。地区ごとに実施される。仮置き場の汚泥は、中間処理施設へ運搬が11月から徐々に始まる。先ずは学校、幼稚園からになる。それが終われば、各地区で実施していた側溝の清掃が今まで通り出来るようになる。

問（市民）

- ・千代田・万世地区に平成27年度1億円近くかけて雨水対策をしたが、8月のゲリラ豪雨には床上浸水も発生して、効果がみられなかった。今回のゲリラ豪雨の検証を実施して、再発防止に努めて欲しい。
- ・避難所になっているえぼかのライフラインは大丈夫なのか。不備があれば改善をしてほしい。（ソーラー発電、ボーリングなどの検討を要望）
- ・安達太良川(線路より上流)の草刈りをお願いしたい。水害につながるのではないか。
- ・東西自由通路の基金をもっと積み増しを可能な限りお願いしたい。
- ・2025年問題対策(少子化対策)のスタートが必要ではないか。

答 国分議員

- ・ゲリラ豪雨対策については、根本的には4号線から西側の雨水を安達太良川へ流す、局所的には9月の補正予算で水路改修を行い様子を見る。
- ・東西自由通路の基金は後世の負担を軽くするためだが、福祉、道路、施設などにも使わなければならないので、積める時には積む考え。

答 三瓶議員

- ・万世・千代田地区の水害問題は、説明会でも聞いていると思うが、市では専門家を含めて今後の対策の早急に答えを出す考え。
- ・えぼかのライフラインについては、停電の時は発電機、断水は防火水槽の水を飲料水に変える機械も設置して対応する。またペットボトルの水も備蓄してある。
- ・安達太良川の土手の草刈りも建設課に申し入れをして要望している為、もう少し待つて欲しい。

答 川名議員

- ・東西自由通路の基金は今年度1億円、計4億円積める事になった。東口駅前整備のまちづくり交付金事業は4割の補助があった。国へ4割補助を貰うべく陳情をしている。起債もあるが基金を積める時には積むように特別委員会でも、要望している。最終的には財政健全化に支障をきたさないように取り組んでいくよう、当局に申し入れる。

答 円谷議員

- ・東西自由通路は28億8千万円予算で、平成32年に完成する。都市再生整備計画の阿武隈川街路灯4キロメートル設置を外し、駅を中心に半径1キロメートルの計画へ、予算がつきやすいように変更した。今年度の補助金が29%しかつかなかった事や、合併推進債が5年間使えるようになった為、事業費の9割が借金でき(充当率90%)、この9割の借金のうちの40%(通常20%)が来年度以降交付税として、戻ってくる合併推進債を使う。今後計画が膨らまないように財政健全化計画と併せてきちんと守っていくよう、議長から申し入れをしている。

答 作田議員

- ・国でも1千兆円を超える借金があり、1秒間に70万円の借金が増えている。財政健全化に向けて県から振興基金30億円を借りて、間もなく返す時期が来ている。現在、借金をするには県の許可がないと借金ができない決まりになっている。
- ・河川の草刈りを委託されている所とそうでない所がある。河川の管理者が対応している。県の河川管理なので市を通じてとか、地元選出の議員に働き掛けをして解決策を見いだしていく。

答 三瓶議員

- ・安達太良川の草刈りは、歩くところから1メートルまで刈るような業者との委託になっていて、ガソリン代程度の消耗品代で県がお願いしている。のり面は入っていないので、のり面などについても要望している最中である。
- ・2025年問題・少子高齢化対策については、国の政策としてとらえている。市でも健康診断を受けるとかジェネリック薬品を使うなどの運動や100歳体操などの介護予防についても取り組んでいる。今後もそういった取り組みを要望していく。

答 作田議員

- ・人口問題は本当に難しい。我々の子供の頃は、人口が多くて3児制限をどうするかと言う話だったが、現在は高齢化になっている国が今後どのような対策をとるか難しい状況になっていることは間違いない。

問 (市民)

- ・本宮市も間違いなく人口は減ってくる。へその町として市長を中心にPRしているが、行政として先を見越して考える時期にきているのでは。

答 議員

無回答

問 (市民)

- ・会派の議会広報に市長への要望として9項目具体的に上がっているが、議会だより42号に載っている議会全体としての要望は、何を要望しているか分からない。要望したものと3月の当初予算にどう反映されたかを、具体的にどうなったかをわかりやすく議会だより明確にする必要が議員にはあると思う。
- ・広報委員会にお願いだが、議会だより45号の討論で陳情第6号を付託された産業建設常任委員会では採択されたのに、本会議では10人が反対で9人が賛成のため採択されなかったという経過と、せめて何対何で不採択になったという結果がわかりにくいので、もっとわかりやすく表現して欲しい。
- ・付託された委員会で決まった事が、19人全員では反対されてしまうという事だと、付託された委員会は何のためにやっているのか。最初から全員でやった方がよいのではないか。そういう意味からも広報はわかり安くして欲しい。
- ・政務調査費は貰うときは一括振り込みか。また、返す時は領収書を付けて現金で返すのか。

答 後藤議員

- ・TPPの件は、産業建設常任委員会で執行部の説明を聞き、激論を交わした後、満場一致で通したが本会議で通らなかったというのは、あって然るべきで、これが議会だと思ふ。広報はもっと分かりやすくするように議会の中で改善していく。

答 三瓶議員

- ・会派広報は新風会のもので、地域活動をしている中で上がった要望から、会派の中で精査して7項目を、29年度予算に上げるように、市長に直接要望したものである。議会だよりの議会の要望は、各常任委員会で話し合いをしてまとめたものを、議長がまとめて市長に提出したもので、会派の要望より優先されるものであり、具体的な長い要望書をまとめたものである。

問 (市民)

- ・執行者としては、会派で出した内容の方が分かりやすいのではないか？

答 円谷議員

・ 常任委員会是对应する部局があり、部局ごとに取りまとめている。

答 川名議員

・ 結局、市民から出てるものもあるし、全部やれば何十億掛かってしまう。要望したからと言うのではなく、各委員会で揉んだものを市長が判断する。いくら要望しても駄目なものは駄目だ。

答 円谷議員

・ 会派としての制度・政策ではない具体的な要望の為、市民から見ればより分かりやすい内容になっている。25年から会派性になったばかりで、会派ではそこまでの提案は行っていない。ご理解頂きたい。

答 作田議員

・ 委員会では、(例えば)市の舗装率が何パーセントだから、もっと舗装率を高くしたいと言う要望の仕方になるが、(会派は)個人的、スポット的な要望になっている。会派も出来て間もないので、全体的にレベルアップを図っていききたい。

・ 政務活動費は銀行に一括して入る。返金の場合は、最終的に決算書を出して、余った現金を事務局へ持っていくという報告になる。いろいろ騒がれているのは、使った分を貰った方が良いのではという話で、それはそれで良いと思うが、本宮の場合は金額が月1万円と小さいので、目いっぱい使うことも無いので必要なだけ使っている。

問 (市民)

・ 会派で貰った40万円ピッタリ使っているのは、足りない分は自分たちで持ち出ししていると言う事か。

答 円谷議員

・ 調査・研究などで政務調査費を使う場合、交通費と宿泊代だけしか出していない。それなりに掛かった場合は個人の持ち出しになり、使う内容については条例の中で決めさせて頂いている。

問 (市民)

・ 駅前代表で聞いてくれと言われたが、市民交流センターの場所は、建物の内容は別として、今の「かなざわ」と「大天狗」の間の駐車場の場所で良いのか。

答 円谷議員

・ 都市再生整備計画事業の説明会があり、交流センターだけでは無く、駅周辺の整備全体の28億8千万円の事業に対しての損益変更の説明の中で、特に今回の目玉として上がってきたのが、地域交流センターの場所がそこで良いのか、3階建てや面積について市から議会へ諮問された。結果、10月14日の駅周辺特別委員会でこの場所に決めさせて頂いた

が、施設の駐車場の確保や総額予算の財政健全化と財政規律を守る事で、市へ議長から答申をした。

問（市民）

- ・人口増が活性化につながる。本宮市外への人口流出防止すること、現在の空き家や仮設住宅を利用できるようにすること、海外からの移民や戦争難民の救済すると言うような受け入れ態勢を整え、グローバル化を図るといった考え方を聞かせて欲しい。

答 作田議員

- ・いろんな考え方があるが、外国人により人口増を図る考えも一説ではあるが、日本でちゃんとした教育を受けさせれば、日本人になりうるという説もある。人口減少を解消するためには、子供を作って増やせと言うのは難しいと思う。そういう対策も考えていかなければならないと思う。

問（市民）

- ・農業、工業の研修を受けることも併せて考えないといけないと思う。

答 円谷議員

- ・国内の労働力が無くなってくると海外からと言う話が手っ取り早い。

問（市民）

- ・ウイリアムズパークにイングリッシュガーデンを造成するが、作ると維持費がかかるが無料なのか。利用者の半数は郡山から来ている。維持費がかかるため、イングリッシュガーデンでアフタヌーンティーをやるとか、来た人にお金を落としてもらい、造園の資金に回すような仕組みを作って、観光資源にするのであれば起爆剤にして欲しい。
- ・ウイリアム王子に植えて頂いた「どんぐりの木」を育てて各学校や幼稚園に植えて頂きたい。イギリス王室が原発事故の時に来て植樹をして頂いたのは国内で唯一無二なので、子供たちに伝えていくという義務が本宮市にあると思うので、予算を付けて管理してほしい。

答 円谷議員

- ・ウイリアムズパークの総額予算約6千万円のうち4千万円位は県、国から補助が出ると思う。維持管理費については、芝の管理は白沢グリーンパーク野球場と一緒に併せて管理し、ボランティア団体に花壇の管理をお願いする考えがある。供託金の考えはその通りだと思う。

問（市民）

- ・有料は無理だと思うが、人手は出せる。花壇の管理は学校でもやっているの、そういった意識を持ってもらいたい。

答 円谷議員

・市として、観光という点も検討したいと思っている。

問（市民）

・市役所エレベーター改修工事は、いつ頃から始まるのか。

答 三瓶議員

・まだ始めていない。9月に予算をつけただけ。

問（市民）

・介護施設に導入する介護ロボットは、高齢者を風呂に入れたり、車いすに乗せたりするのに必要と思う。予算はどれくらいか。

答 三瓶議員

・後で回答する。

問（市民）

・表彰の対象は何年か。以前行政連絡員を11年やったが、市役所からあと1年足りないと言われた。

答 作田議員、円谷議員、他

・町内会長は10年で、役職によって決められていると思うが、行政連絡員が12年かどうか今は分からない。表彰には人命救助の場合もある。

◇ 作田議員 閉会挨拶

貴重な意見を頂きありがたい。是非持ち帰り精査をさせて頂きたい。良い方向に向けて我々も努力する。どうぞご指導いただくようお願い申し上げます。

【午後 8時33分閉会】